

岡山大学入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	平成27年 2月27日(金) 本部棟3階 入札室	
委員	委員 山崎 雅弘 (大学教授) 委員 板野 次郎 (弁護士) 委員 小橋 仙敬 (公認会計士)	
審議対象期間	平成26年1月1日～平成26年12月31日	
抽出案件(合計)	7件	<p>(備考) 入札監視委員会設置要項にのっとり、互選により山崎委員が委員長に選出された。</p> <p>今回の審議対象期間においては、再苦情の申し立て及び同審議依頼はなし。</p>
建設工事(小計)	5件	
一般競争入札(WTO)	1件	
一般競争入札(上記以外)	3件	
工事希望型競争入札	0件	
通常指名競争入札	0件	
随意契約	1件	
設計・コンサルティング業務(小計)	2件	
公募型プロポーザル	0件	
簡易公募型プロポーザル	2件	
標準プロポーザル	0件	
競争入札	0件	
随意契約	0件	
	意見・質問	
委員からの意見・質問, それに対する回答等	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	特になし	

意見・質問	回答
<p>1. 岡山大学において発注した建設工事について 特になし</p> <p>2. 岡山大学において発注した設計・コンサルタント業務について 特になし</p> <p>3. 審議対象工事等に関する点検事項について</p> <p>資料2「建設工事の発注一覧表」について、入札参加業者が全体的に見て2、3社が多いように思う。これは先に説明のあった最近の特殊要因によるものか。もしくははだいたいいつもこれくらいの参加者か。数年前はどうだったか。</p> <p>資料6-4（鹿田）管理棟外壁改修工事について、低入札に関する書類をとっているか。</p> <p>資料6-3（鹿田）動物実験施設改修その他工事について、落札業者以外の2社の入札金額は予定価格と比較してどうだったのか。</p> <p>資料6-3（鹿田）動物実験施設改修その他工事と、資料6-4（鹿田）管理棟外壁改修工事では、両案件とも『予定価格は公共工事積算基準に基づいて積算している』としているが、落札率99%となる場合と、低入札になる場合との違いは工事内容の違いによるものなのか。</p> <p>資料6-6（医病）中央診療棟（Ⅱ期）新営に伴う埋文調査残土処分工事について、『指定処分場との連絡体制に実績がある』とはどういうことか。</p> <p>有害物質（六価クロム）が混入とのことだが病院の跡地ではよくあることか。</p>	<p>3～4年前のほうが参加者が多かったが、最近入札する案件は5社以下が多い。</p> <p>専任の主任技術者を置かなければならない案件もあり、その主任技術者が不足している。</p> <p>書類をとって、ヒアリングを行い、確認している。</p> <p>予定価格とは5～9千万円ほど差があった。</p> <p>（鹿田）動物実験施設改修その他工事は数量公開対象工事なので、予定価格に近い価格で積算できたのではないか。（鹿田）管理棟外壁改修工事については業者の工夫によって安く積算できた部分がある。”外壁工事”ということで、足場の設置については、大学は工期いっぱいの設置を想定していたが、業者は必要な期間のみで積算した結果、金額に差が出たものと思われる。</p> <p>4の抽出案件の時に説明する。</p> <p>薬品を使用する施設があった場所では有害物質が検出されることがある。</p>

#### 4. 審議対象工事等（抽出案件）について

資料7-1(鹿田)中央診療棟Ⅱ期新営その他工事について、3社応札とのことだが当初の想定は5社程度だったのか。Ⅱ期とあるが、Ⅰ期工事の時にⅡ期工事の計画はあったのか。Ⅰ期工事とⅡ期工事は同じ業者が請け負った方が現場としても良いかと思うのだが。

総合評価審査委員会の委員のメンバーは？

VE提案とは業者のアイデアや技術力のことだと思うが、提案された事項が現実に施工できるかの実績の評価はしているのか。

全般的なことだが、資料2「建設工事の発注一覧表」等の委員会資料について、業者名や入札金額が分かるようにしていたら、大変見やすくなるのだが。

資料7-1のWTO・標準型と、簡易型との違いは何か？

資料7-3(鹿田)動物実験施設改修その他電気設備工事応札業者1者で2回入札しているがそれぞれの金額も教えてください。

2回目の入札も参加業者は1者のみか。

資料7-4(鹿田)管理棟外壁改修工事は工期延長の他、金額変更もしているか。工期延長の理由も教えてください。

上記変更は外壁の全面改修工事と一部改修工事の違いが関係しているか。

総合評価落札方式(実績評価型)が、今までの総合評価と違う点は何か。

総合評価落札方式の型の適用の違いはどことが決めているのか。

入札参加業者はもう少し多い想定だった。Ⅰ期工事参加業者で、Ⅱ期の入札には参加しない業者もあったので想定より少なかった。Ⅱ期工事の計画はⅠ期工事の入札時すでにあったが、予算も別であり、元々別発注の案件であった。

技術的な観点から環境生命科学の教員、経営的な観点から法学部の教員、財務部長、施設企画部長である。

提案された事項については施工できることが前提であるので、実際出てきた書類でのみ評価し、実績は求めている。

落札業者も入札金額も公表している内容なので、次回の委員会資料ではそちらについても記載いたします。

簡易型はVE提案を求めておらず、施工計画と施工実績を求めている点が異なる。WTO・標準型は工事規模の大きい案件で海外の業者も対象としているため、施工実績を求めている。

1回目 145,000,000円、2回目 138,000,000円です。

競争参加資格有の業者が1者のみですので、2回目の参加もその業者のみの参加です。

金額変更もしている。工期延長の理由はタイル製作に想定よりも時間が掛かったためであり、金額変更の理由は当初の想定よりも改修箇所が多かったためである。

関係している。部分改修の場合、当初の数量は想定数量なので、設計変更が前提の工事となっている。

工事の施工実績を評価している点である。

金額によって適用する方式が異なる。評価項目及び基準のひな形は文科省が各大学へ配布している。配点の部分は各大学で多少異なることがある。

<p>資料 7-5 (医病)中央診療棟(Ⅱ期)新営に伴う埋文調査残土処分工事について、『指定処分場との連絡体制に実績がある』とはどういうことか。</p> <p>事後的な改善策の『同様の事態を未然に防止する体制を整える』とは具体的に業者、大学側どちらに整えるのか。</p> <p>資料 7-6 (鹿田)動物実験施設改修その他建築設計業務について、設計プロポーザルの場合、金額が先に決定するのか？</p> <p>上記業務の別紙の中の技術提案の項目はどの部分か。</p> <p>設計業務の評価項目で、建築と設備の違いはあるか。</p> <p><b>5. 平成26年度(平成26年～1月12月)指名停止について</b></p> <p>特になし</p>	<p>(医病)中央診療棟(Ⅱ期)新営に伴う埋文調査その他工事を月本建設(株)が行っており、発生土集積場所の所有者である月組工業(株)は関連会社である。</p> <p>残土搬出時に大学が報告を受けることを徹底する。</p> <p>先に提案を受け業者を特定してから、見積書を提出してもらい、契約金額を決定する。</p> <p>『業務の実施方針』及び『課題についての提案』の部分である。</p> <p>主任技術者について、建築は「意匠」「構造」、設備は「電気」「機械」の資格、実績等を求める点。また、案件毎に課題及び配点は異なる。</p>
---	--